

託兒所の實際

櫻楓會託兒所主任 丸山千代

幼兒晝間保育の事業は、近來非常に盛になつて東京府下に於ては、工場附設を合すれば三十餘ヶ所である。全國の社會事業家は元より大工場主又は鑛山主等此の事業に心傾けらるゝ事著しくなつて來た。一つは營利事業上より一つの方便として、一つは眞に、社會改良上から、又は人道上から、今後益々盛になる事と思はれる。動機は何れにあるにせよ、取り扱ふものは兒童である所からして、最も適當なる境遇を彼等に與へ、信頼を擔ひ得る保姆が従事せねばならぬ。然るに實際は營利事業家は其立場より金に任せ、て外形のみ形造り、以つて足れりとなり易く、一つは其必要さへ補へばよしとして、堂々たる工場の一隅に、最も粗末なる建物と、暗愚なる老婆の閑つぶしに任せおくものと、一方社會改良又は兒童中心から起つた事業は、元來安定の資なきが多く、従つて一般の同情を訴へるのであるからして、事業經營難に經營者は少からず頭をなやまされる。大正七年後

の今日、經費の膨脹殊に甚しいので、事業上の支障は元より、從業者は自分の生活は低きに安ずれど、其家族の心配と、子弟の將來の教育さへ覺束なきなやみを如何とする事は出来ない數年前は唯美しき精神的情緒のもとに、給料など、元より眼中になく而も一人半前も二人前も、朝から夜迄黙々として従事して來たものも、やはりその使命を全ふするには、研究も必要休養も相當にし、而して精神的食餌もとらねばならぬ。保育所は勞働者相手故休みも少く且つ朝も早く夜までの仕事になる。「仕事即遊戯」「仕事の轉換即ち休養」等此の態度元よりあるべき事なれど、そのみにては解決つけ難きこと多く、そこにはいろ／＼の煩悶が起つて來る。又朝夕せめて、老父母の用も達し、衣類の手入れも等幾分家族生活を中心におく時は、何かと兩立せぬ苦しみを見出すのである。是等の自分の生活と、研究と仕事と此の三つの調和を計るには、自然人を増さねばならぬ。けれ

ども經營者は經營難と保母を幾らか人格視せぬ常習から無理を強ひ、保母達も信仰生活、又は精神的生活の立場に身をよせて、黙して居る。此の問題を之からの保育所經營者は如何取り扱ふべきだらうか。故に餘計に保育所には人を得難くなる。

保育所の使命は實に大なりであつて、家庭と幼稚園の中間に位し兩方の性質を兼ねて居らねばならぬ。一度保育所に従事すれば其使命の大なる事と盡きざる興味とに凡てを捧げて惜しまざるに至るのである。斯く云へば何の要求も起らぬが當然の様なれど、使命をよりよく果すには其爲めの要求が起るのは當然である。保育所をして、保育所の使命を果すには、何としても上述の問題を解決せねばならぬ。之は單に従事者の自ら開拓せねばならぬとは云ふものゝ、社會の輿論によつて、一層適切に解決せられねばならぬ。

此頃歸朝されし船尾榮太郎氏の御話に「戦後の歐米の社會事業に問題になつて居るのは、經營難と従事者の經濟上の煩悶とである」といはれた事から見れば、此點は今は何處の國も共通である。

それから此度催さるゝ子供デーを迎ふるに當り、

眞に訴へ度いのは乳兒問題である。電車にのる時ふと側に見すばらしき人を見出した時、又道行く内に赤子負ふ貧しげの父親や、右手に内職の包みを、左手に幼な兒の手を引いて、往く母親に、乳を乞ふ赤子の泣き聲を聞いた時、其人々の家、生活、事情を考へられる方々が幾人あるだらうか。實に同情に耐えぬ事が多い。その一二の例を上げれば妻の病氣に四疊半一間の僅かの道具も、大方は賣り盡した頃其妻は死亡した後には、九歳の子を頭に四人の子が残つた、父は日雇で一日休めば一日饑えねばならぬ、幸幼兒達は托兒所に依頼するとしても、一歳の乳兒の所置に窮する。病兒ならば夫々慈善病院に一時なりとも收容される便はある。然し健兒なれば全く行き所がない、里料十數圓に衣類も相當にせねば里親の機嫌が悪い迎も耐え得る處でない。乳兒まで引き取らるゝ福田會孤兒院も里親見當らぬ内は入れられぬのである。養育院は父ありと云ふので受けられず、同情園も目下の設備にてはいつとも満員、婦人共立育兒會も十人の定員にて中々缺員なく子守雇ふにも牛乳代から給料などは日雇の薄給にて數人の子の養育さへ覺束なきところ故迎も其餘裕はない。夫失ひし

寡婦の場合も之と同じ事にて唯母乳はあれど内職位にては一家支へられやうもない。斯く書き立てれば一朝一夕擧げ盡せぬが何とも解決つかぬ事のみ多い而して辛じて男親の育て上げし子は、多くは慢性の胃腸病にかゝり居り、性質も扱ひにくくなつて居るのが多い。之は托兒所に於てよく經驗する所である私共は完備せる乳兒保育所の設置を希望する。安價に牛乳を得らるゝ様希望する。無智なる男親に夜間其許に渡す事無くして行き届ける世話をする晝夜どもの孤兒院ならぬ設備をも附設し度い。寡婦の方には安心して母乳を與へたい。育て上げらるゝ爲めに國家が其生活費の幾分の補助あるべきを希望する。ある公の機關に此の事なきにしもあらずされど申請を紹介しても多くは許可されない様である。私共其設備の出來ぬは經費の問題の爲めである既設した事業の繼續さへ危いから一層一般の有志者に力を借らねばならぬ。下層社會の寡暮しのもの等は直ぐ又結婚するならんと多くは考へらるゝ様なれども托兒所に入入りする人々の中に、感心に耐えぬ人は中々多い彼等は何も言ずして道をふんで居る。私共は徒に何もかも直ぐ様救濟的にと云ふのでは無い。願はく

は成るべく彼等自らの道に出づる様にと或は郷里の事情親類の關係を詳細に問はねばならぬ、彼等の眞偽も觀察せねばならぬ、されど親に罪ありとして兒童を捨ておくわけには行かぬ。斯くして親類知己關係の中間の勞によりて解決さるゝは數少く、少しでも兒童に關係ある機關の間をグル／＼廻り居る内には事件をます／＼暗黒に運び去つてしまふ。

幼兒死亡率のいやが上に高まり行くを、學者や爲政者の唯机上の材料としての時のみ一顧するのでなく實際の施設を望む次第である。斯く兒童問題を中心にした社會問題が數々あつて、托兒所は母の會出身者の指導、附近のコードモ會近所の大人の爲めに又娘の爲めにとそれ／＼關係すべき事業多々あり。現在の各保育所は何れも夫れに努力しつゝあれど、前述の如き事情にて重き使命に耐えぬ次第である。是非何れの階級、何れの職にあるを問はず、其立場／＼に於て、協同一致幾分なりとも共同奉仕の精神によるならば、必ずや人も吾も各責任を果し得て幸福を自得するわけであると思ふ。